

新・走査電子顕微鏡

日本顕微鏡学会関東支部 編

共立出版

内容紹介

本書は 2000 年刊行の『走査電子顕微鏡』の改訂版である。『走査電子顕微鏡』は走査電子顕微鏡に関する最新の知識と技術を網羅した本格的な書物として、この顕微鏡を使用する多様な分野の学生・研究者・技術者に愛されてきた。しかし、刊行から 11 年の歳月がたち、この間に走査電子顕微鏡を取り巻く環境も大きく変化したため、初版の内容に追加すべき点が多く生じてきた。まず、社団法人日本電子顕微鏡学会が 2003 年に社団法人日本顕微鏡学会に名称を変更したことから始まり、コンピュータ導入による画像のデジタル記録や装置の構成の変化があり、電子光学系や検出器、高分解能観察、低真空観察、極低加速観察などの分野においても著しい進歩がみられてきている。

そこで、今回の改訂ではこれらの変化をふまえ、時代に即した書物とするべく全面的な見直しをし、大幅な改訂を行った。また、編集委員会で通読を重ね、統一的でより平易な内容になるように努めた。走査電子顕微鏡を活用したいと思う研究者や学生の方々に本書が引き続き愛されることを祈る次第である。

新・走査電子顕微鏡

日本顕微鏡学会 関東支部 編

6月23日 発売!!

B5 版・上製・576 頁・定価 14,700 円 (税込)

ISBN 978-4-320-03473-0 C3042

目次

- 第 1 章 走査電子顕微鏡の原理と構成
- 第 2 章 像のコントラストの形成
- 第 3 章 走査電子顕微鏡の調整と像取得・表示・保存
- 第 4 章 走査電子顕微鏡の多様な機能と周辺装置
- 第 5 章 生物学への応用
- 第 6 章 材料科学への応用

編集委員長：牛木辰男 (新潟大学)

編集委員：朝山匡一郎(ルネサスエレクトロニクス株式会社)、於保英作(工学院大学)、
西山彌生(帝京大学)、吉田明(東京都立大学)

執筆：相川正道, 青島利裕, 赤堀 宏, 足立達哉, 天児和暢, 石川春律, 石谷 亨, 伊東祐博,
稲里幸子, 井上貴央, 今市涼子, 岩田 太, 宇野文夫, 梅田昭子, 江尻貞一, 大隅正子, 大谷 修,
小倉一道, 小澤英浩, 小澤幸重, 小野昭成, 加藤征治, 北上 修, 木村利昭, 黒澤文夫, 小池和幸,
小柏 剛, 小竹 航, 小林 寛, 近藤俊三, 笹田勝弘, 佐藤 馨, 佐藤 貢, 島田達生, 嶋田 裕, 白木尚
人, 村主節雄, 鈴木清一, 関口隆史, 高須久幸, 高田邦昭, 高橋 元, 田中敬一, 多持隆一郎, 中
川清一, 中前幸治, 二川 清, 西山英利, 西村雅子, 幡場良明, 福田芳生, 藤井智之, 藤川清三,
本間芳和, 間所祐一, 武藤宏史, 村上宅郎, 村田薫, 森田博文, 森谷久雄, 山下美香

